

やすらぎ

平成 22 年 6 月 1 日
〔第 134 号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

グラウンドゴルフ始めました

5月16日(日)晴天!! 月1回の事務所清掃の後、事務所駐車場に於いて世代間交流グラウンドゴルフを行いました。老若男女10人が参加。

コース一面をとるには狭く、ポストまでの距離も規定より少し短かくして、何とか6ホールをつくりました。初めての試みでしたので辛抱、辛抱。

ここでのグラウンドゴルフは、他とちがって変化に富み、ボールが石で跳ね返り思わぬ所へ飛んでしまったり、アッ!ダメダと思ったボールが塀に当たってナイスショットに。ホールに入ったと喜んだのもつかの間「失礼します」と外に出てしまったり。「ワァ、ワァ」「キャー、キャー」ともとても楽しい一時でした。

米田さんのお孫さん、おじいちゃんに負けじと一生懸命頑張りました。田村さんのお孫さん、女



の子らしくやさしいショットで参加して下さいました。

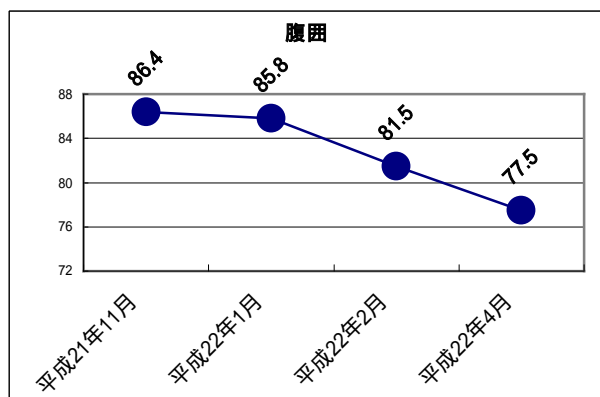
ボケ予防は大声で笑うこと、ショットの数をしっかりかぞえ、打ち方を考えて脳を活性化。こけない体、こけても怪我をしない体、バランスのとれた良い体つくりにと、いいことづくめのスポー



ツ、グラウンドゴルフです。近いうちにまた実施します。皆様こそってご参加ください。

女性クラブ 富士秀子

レーニングをしている」と答えていましたが、最近では「メタボ解消のため1万歩以上歩きます」



と言っています。

雨や雪の降る日には、傘を差し長靴を履いて歩いています。これも自分に与えられた「行」。1ヶ月を過ぎたころから体型に変化が見え始め、今では体重が8.5kg減り、腹囲が8.9cm短く、血圧も右肩下がりになってきました。今後も自分にあった方法で、無理なく楽しくやり続けていきたいと思います。

『成果を出すため歩くのではなく、歩き続けたから成果が出てきただけです』

さあ～ちゃん

ツアーガイド(6) 老人の笑み

この朝、近鉄西大寺駅前から裏通りに秋篠川の土手ぞいを、ザックを背負って歩いていた。

憧憬として心の中に宿った平城遷都1300年祭に、参加するオープンまもない本番の当日である。100年に1度と言う悠久な行事に独り参加することは、葛城に生きる地虫(じむし)にとって、関係した先祖に一輪の華を奉げようとする、いつわりのない気持からである。

「平城」をよく知る者にとって、決して天皇に感謝する気持よりも、この造営に幾多の悲喜こもごもな人生を余儀無くされた諸国の役民だったご先祖に、哀れみと同情を抑制するものではない。

過酷な労働条件のなかで逃亡者があいついだ。和銅4年の勅で「諸国の役民、造都に労して、はしりにぐるものなほ多く、禁ずるといへども止まらず」といっている。捕らえられれば、1日につき30回の笞打ちの刑が課せられるのだが、それでも役夫は逃げたのである。食糧も路銀も持たされず帰路についた役夫たちは、次々と餓死して屍を野にさらしていった。

私は昭和の戦争で、母や妻と5人の子どもを残して死んで国に奉げた活かされざる父を、あわれんだ。その思いを心の中で交差させる。

ツアーガイド150名の構成は、奈良文化財研究所所属のボランティアガイド、奈良市内の通称「朱雀の会」の180名からピックアップされたガイド、及び奈良商工会議所「まほろばソムリエ検定」の上級合格者で要請を受けた参加者がメンバーのほとんどを占め、彼たちはキャリアに富み、蚕虫がこつこつと糸を産むように、長い年月を学び蓄えて来た知識を、この平城宮跡の草原で糸を産むように身の外へと物語ろうとした。彼らは何事によらず意欲的で、おどろくほど物知りで、かつ気の長い実践者であった。



私は全くの実践を欠く数少ない素人集団の1人で、終始頭の中を重くしていた。そしてその心配事が本番で現実となってあらわれてしまった。それは喉(のど)の乾きがたえずして、知識が断片的で物語り風になかった。

遣唐使船の案内から、朱雀門へとやって来たころには、多少落ち着きが戻って、近鉄の踏切を渡って朝堂院基壇では、平常に回復していた。

その壇地で、詩人北見志保子の「平城山(ならやま)」を歌うことにした。

人恋ふは 哀しきものと 平城山に もとほり来つつ 堪えがたかりき

古(いにしへ)も 夫(つま)に恋ひつつ越えしとふ 平城山の路に 涙おとしぬ

『日本書紀』の武烈天皇の条、影媛の悲恋の物語を、東大寺の塔頭で宿っていた志保子が、佐保路までそぞろい作詞したのであった。

歌い終わると中年の婦人たちからさかんな拍手があった。

『このおじさんがねえ。顔に似合わない歌を歌われてねえ』ときっと思っていることだろうといつものように勘繰った。

それから南門広場で止まり、18名の人達と顔を合わせてあらかじめ説明の補足をした。

所定の1時間30分が大極殿前で終了した。何だか短く感じた。

午後からも、もう一度繰返しコースを巡って、

午後5時をすぎた時、ようやく1人身になって戻って、エントランス広場から開放された。

帰り道、朝来た秋篠川の土手を歩いて西大寺駅へと向いていた。

少しの後悔を感じながらもすっかり開放された1日の疲れが、背のザックを重くしていた。

高い奥山から急勾配の坂道を下山する時、うしろから若い登山者があたりまえのように追い抜いて降って行く。それでも老人らしくこつこつと溪流をすぎ、林をすぎたところで、里の人家から犬の遠ぼえが聞こえてくる。身も心も満足感と一緒に歩けるのはこの時である。

携帯で妻に「無事終わったよ。出来ばえは悪かったけれど、これで次の自信がついたよ」と笑みをもって告げるのはいつもこの時になるう。

Thomas

運営委員報告

5月22日(金)午後8時から定例の運営委員会が開催され、委員11人が出席しました。吉田代表世話人は「6月13日(日)伝統の日感謝の集い中日本会場への参加を呼びかけています。また、亀谷音一さん、八川マツエさんに誕生祝をお渡ししてきました」と挨拶し議事に入りました。

報告事項

1. 伝統の日感謝の集いについて(富士研修委員長)

6月6日(日)の柏会場へ5名参加、6月13日(日)の中日本会場へ5名参加予定です。(5月22日現在)最終締め切りは5月29日(土)地区委員会になっていますので、参加希望者は早急に申し込みください。参加人数が少数の場合は乗用車にするか中止にします。5月末で決定し連絡します。
2. 生涯学習セミナーについて(細川実行委員長)
 - ・ 5月24日(月)20:00からセミナー事前学習会を山田悦雄氏をお招きして行う。多くの参加をお願いします。
 - ・ 5月30日(日)セミナー事前打ち合わせが大阪出張所で行われます。細川実行委員長他8名が参加予定です。
 - ・ 講師が決まりました。B講師...木村好雄(日本橋)、A講師...久野信夫(廣池学園)

3. 各クラブ他

- ・ 青年クラブ(米田青年クラブ長)

5月30日(日)大和桜井事務所青年クラブの奈良県持ち回り企画(元気プロジェクト)に4名参加します。場所は、桜井芝運動公園内の体育館です。
- ・ 女性クラブ(森戸女性副クラブ長)

5月16日(日)事務所駐車場に於いて、世代間交流グラウンドゴルフを10名(子供2名)で開催しました。

審議事項

1. 研究費(報恩箱)の「セキュリティ」について

毎月4日、5日、12日に会計委員がいるので、その日に報恩箱に入れる。その報恩箱は会計担当が持ち帰り保管する。新しく開設する郵便局の振替口座に振り込む。を併用して、各自都合の良い方法で行う。

編集後記
葛城山のつつじ今年は二回もみることが出来た。つぼみ、満開時となんと幸せなこと。偶然出会った、西宮と大阪から見に来た男性は広大な山肌にとめ百万株といわれ真つ赤に咲くつつじに「感動した」と言っていました。以前より群生し、より綺麗になっていくつつじ、御所の財産です。新登山道も整備され、お世話をしていただいた皆さんに感謝、感謝です。よう